

保存用

凍結時に備え、よくお読みになってお役立てください。



ブルツ
ときたら
キッチンと予防

凍結に

ガス機器
(給湯器・風呂がま)
給水管
の

ご用心!



使いましょう。

ガス機器を快適に

凍結トラブルを防ぎ、

寒さの厳しい新潟の冬……。

冬は凍結によりお湯がでなくなるなど、凍結トラブルが多発する季節です。

冷え込みの厳しい日、北風の強い日などはガス機器本体や給水管の凍結予防を心がけましょう。

- 凍結トラブルの多くは、特に給水元栓からの凍結が原因です。保温材等で保護してください。



保温材の巻かれていない給水元栓は凍りやすいので要注意!!

最近の屋外給湯器は、凍結防止ヒーターが組み込まれています。必ず電源プラグを差しておいてください。

ガス器具のことなら北陸ガスが最寄りのガスショップへご連絡下さい。

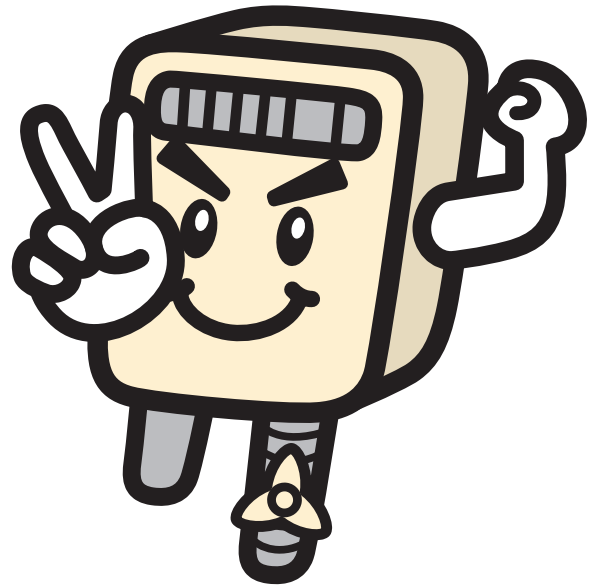
北陸ガス

新潟支社

TEL. 228-2131

凍結を予防するために

凍結トラブルの予防は、
「ガス給湯器本体の凍結防止」と
「給水管の凍結防止」の2本柱が基本です。



ガス給湯器本体の凍結防止策

ガス給湯器や給水・給湯配管が凍結することにより、ガス給湯器が破損したりお湯が出なくなる恐れがあります。気温が低温になり凍結の恐れがあるときは、次の予防策をお勧めします。

なお、凍結によりガス機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料修理となります。

ポイント1 通水による方法	ポイント2 凍結予防ヒーターによる方法	ポイント3 水抜きによる方法
<p>冷え込みが厳しいときは、給水および給湯配管や給水元栓の凍結を防ぐため以下の通水の処置をしてください。</p> <p>機器だけでなく、給水・給湯配管、給水元栓なども同時に凍結予防できます。</p> <ol style="list-style-type: none">①リモコンの運転スイッチを「切」にする。②ガス給湯器のガス栓を閉める。③給湯栓を開いて、少量の水（1分間に約400cc…太さ約4mm）を流したままにしておく。 	<p>給湯器内の凍結予防ヒーターが、凍結の危険のある気温近くになると自動的に作動します。</p> <p>電源プラグを抜くと作動しないため、電源プラグは抜かないでください。</p> <p>（運転スイッチは「入・切」に関係なく凍結予防します。</p> 	<p>凍結予防をしても、厳冬期には完全に凍結を防ぐことができない場合があります。</p> <p>大寒波が到来した夜などは、ガス給湯器や給湯配管が凍結しないように水抜き作業を行ってください。</p> <p>※ 水抜き方法は、器具取扱説明書をご覧ください。</p>

給水管の凍結防止策

給水管が凍結してしまうと、ガス給湯器本体に異常が無い場合でもご使用できなくなることがあります。

特に給水元栓や給水管の露出部に保温材の巻かれていない場所があると凍結しやすくなります。事前に保温部の点検と補修工事等の処置をしてください。

また、給水管の凍結には、通水による防止策が有効です。

凍結してしまったら！

気温の上昇により自然に解凍するまで待つことをおすすめしますが、すぐにお湯を使いたい場合は、以下の方法をお試しください。

- ① 布を給水元栓の周りに巻く。
- ② 50℃前後のお湯を給水元栓に巻いた布にゆっくりかける。
- ③ 給水元栓が回るようになったら、家の給湯栓を閉める。
- ④ 布を外し、給水元栓のまわりについた水を乾いた布でふき取る。

